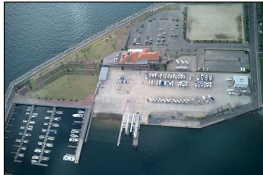


㉔ 福田地区



長崎サンセットマリーナがあり、ヨットやモーターボートが利用している。マリーナではマリネジヤやヨットレース等の海に親しむ様々なイベントが行われている。平成17年に海の駅に認定。

㉓ 港口地区 防波堤



外洋の高波から港を守り、港内を静穏に保つ防波堤。海底水深が35mと深いため、重量4千トン、高さ22m、幅13m、長さ20mの巨大なケーソンで建設されている。

㉒ 四郎ヶ島



開国を迫る欧米諸国の船が日本近海に出没するようになった幕末期に、外国船の侵入に備え築かれた大砲台場。現存する台場跡は貴重な近代遺産。

㉑ 神ノ島地区



神ノ島地区には、臨海工業団地が造成されており、主に造船関係の企業が立地している。神ノ島は、神功皇后がこの島に上陸し櫛に鈴を付けて神に祈られたことに由来していると伝えられている。

㉐ 皇后地区



皇后地区は砂・砂利の取り扱いの他、発電プラントの梱包作業、資材置き場として利用されている。先端のねずみ島は、神功皇后がお立ち寄りになられたとの伝説から別名、皇后島とも呼ばれている。

㉏ 木鉢地区



長崎の重要な石油基地である。

㉍ 女神大橋



本橋部の長さは880m、海面からの高さは65m。斜張橋としては九州一、全国で6番目の長さ。平成17年12月11日に開通。

㉌ 小江地区



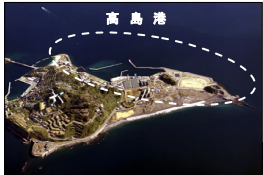
小江地区は、砂利の取り扱いの他、資材置き場、プレジャーボート等が利用している。平成15年にLNG基地が立地し、長崎市を中心に125,000戸に都市ガスを供給している。

㉋ 伊王島港



昔、炭鉱の町として栄えた伊王島は、現在「リゾートアイランド」として、県内外からの多数の温泉客や釣客で賑わっている。そんな伊王島の玄関口が伊王島港であり、平成17年は約43万人が利用。

㉊ 高島港



昔、炭鉱の町として栄えた高島は、平成9年に「飛島磯釣り公園」と「人工海水浴場」がオープンし、観光の町として生まれ変わろうとしている。そんな高島の玄関口が高島港であり、平成17年は約13万人が利用。

㉉ 三菱重工業㈱長崎造船所 香焼工場



日本最大の乾ドック 100万トンドックのある三菱重工香焼工場。赤と白のアーチ型クレーンは、別名「ゴライアス・クレーン」と言われ、この1基で6000t、60人乗り大型バスを50台つり上げることができる。

㉈ 小ヶ倉柳地区 外貿ふ頭



長崎港で唯一の公共の貿易岸壁をもつふ頭として、昭和47年に完成。釜山（韓国）とのコンテナ航路が週1便就航しており、新たに平成18年6月13日（火）長崎港寄港便から、中国向けコンテナの直行便サービスが開始された。

㉇ 小ヶ倉地区



小ヶ倉地区は、石油やガスなどのエネルギー等を取り扱っており、石油やガスの貯蔵タンクがある。

㉆ 小菅修船場（ソロバン Dock）



日本最初の近代的洋式ドックで国指定史跡。現在の造船長崎の発祥の地ともいえる。船を引き揚げる滑り台がソロバン状に見えるためソロバン Dock と呼ばれる。

㉅ 松ヶ枝地区 旅客船ふ頭



国内有数の国際観光船の寄港実績を誇る観光船ふ頭。現在、10万トン級の大形旅客船が安全に接岸できるように岸壁の改良工事を実施中。

㉄ 常盤・出島地区 旅客船ふ頭



2万トン級、全長180mの観光船が接岸できる観光船ふ頭。背後には水辺の森公園や平成17年4月にオープンした長崎美術館があり、市民や観光客で賑わう都心の水辺空間。

㉃ 元船地区



「長崎港ターミナルビル（愛称：ビッグビツ）」や「みなとのみえるプロムナード（愛称：ドラゴンプロムナード）」があり、五島や周辺離島へのフェリーや高速船が発着する海の玄関口。平成17年は約120万人が利用。



長崎港MAP